

令和 6 年 6 月 19 日現在

機関番号：82702

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2023

課題番号：18K12251

研究課題名（和文）鎌倉～南北朝時代における絵所の並立と絵師の交流をめぐる調査研究

研究課題名（英文）Investigation and research on the coexistence of picture houses and exchange of painters in the period of the Kamakura - Northern and Southern Dynasties.

研究代表者

橋本 遼太（HASHIMOTO, Ryota）

神奈川県立歴史博物館・学芸部・学芸員

研究者番号：20782840

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：神奈川県立歴史博物館本十王図に関連して、同じ図様を示す十王二使者図が小田原市総世寺に所在することを近世の地誌を手がかりにつきとめ、熟覧と展示公開の機会を得た。また、中国明時代初期の制作と推定できる総世寺本の画中山水図の描写が、室町時代前期作と思しき同図様の根津美術館本においては、室町前期の宮廷絵師が手掛けた絵巻物を思わせる表現に変じていることから、神奈川県立歴史博物館本、大徳寺本、海住山寺本、総世寺本などに類する将来十王図が、室町時代前期の段階で宮廷絵師が実見できる環境に存在したことを指摘するなどした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来ほとんど存在の知られていなかった総世寺本十王二使者図を見だし、展示公開する機会を得たことにより、本図の美術史上および十王信仰史上における重要性が広く知られることとなった。なお、展覧会終了後に同作品は神奈川県小田原市の指定文化財に指定されることが決まった。

研究成果の概要（英文）： Using a geographical record of the early modern period, I found out that a painting of two messengers and the Ten Kings was located at Sosei-ji Temple in Odawara City, Kanagawa Prefecture, and had the opportunity to view it and exhibit it. In addition, the depiction of landscapes in the Sosei-ji manuscript, which is estimated to have been produced in the early Ming dynasty of China, has been changed to a depiction reminiscent of an early Muromachi court painter's picture in the Nezu Museum manuscript, which is thought to have been produced in the early Muromachi period. I pointed out that court painters were able to see these pictures in the early Muromachi period.

研究分野：中世絵画史

キーワード：十王図 涅槃図 水墨画 鎌倉

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究は、鎌倉時代から南北朝時代の絵画作品の調査および関連文献の読解により、当該期の各寺社附属の絵所(絵画制作工房)の並立状況を整理し、かつ各絵所に所属する絵師たちの相互交流の具体相を明らかにすることを目的とする。分析の観点は次の3点。すなわち 図像(構図や図様の概形など、絵手本として世代を超えて伝承されるもの)、表現(細部の彩色や線描、人物の顔貌など、絵師個人の特徴に帰されるもの)、材質(絹や紙など発注者の社会階級により質の優劣があるもの)である。

上記の観点から調査研究を行い、紙形(由緒ある図像や絵手本)の伝領や、発注主体と絵師との関係などを明確にすることで、鎌倉時代から南北朝時代にかけての絵画史にかかわる人物と文物の交流の具体相を考察し、ひいては絵画・彫刻・工芸の分野横断的考察により、この時代の美術工芸史に新たな基盤を構築することを目標にする。

2. 研究の目的

鎌倉時代から南北朝時代の絵画作品の調査および関連文献の読解により、この時期の絵所(絵画制作工房)の並立状況を整理し、かつ各絵所に所属する絵師たちの相互交流の具体相を明らかにすることを目的とする。

上記を当初目的として研究を開始したが、新型コロナウイルスの流行により熟覧調査が実施できない期間が長期にわたるなどしたため、研究対象の一部を変更して研究者所属機関の所蔵作品を多く交えつつ、この時期の絵画作品の支持体や顔料についての画像情報を収集することを目的のひとつに加えた。

3. 研究の方法

画中の年記や附属品などから制作年の判明する作品を中心に研究対象を選定するとともに、研究代表者が所属する機関が所蔵しあるいは寄託をうける作品についても、基礎情報の整理と制作背景の解明に努める。実査に際しては本紙の法量測定や材質技法の目視による判断に加えて高精細のデジタルカメラによる本紙の全図および部分拡大写真を撮影する。撮影の際には絵画表現の細部が判別できる画像だけでなく、絹本絵画であればメジャーを写し込んで絹の織目を撮影し、画絹の組成を相互比較できるデータを蓄積する。

4. 研究成果

本研究の研究成果はおもに以下のとおり。

- ・横浜市宝生寺本仏涅槃図について、図像が鎌倉市円覚寺本仏涅槃図や鎌倉市宝戒寺本仏涅槃図に近似することを指摘し、淵源にあると考えられる円覚寺本仏涅槃図が鎌倉地域においてとくに重要視され写すべき規範となっていたことを明らかにした。

- ・遊行上人縁起絵巻の諸本のうち真光寺本について、巻7第5段、信州善光寺の舞台で念仏をおこなう場面に錯簡があることを確認し、真光寺本が完成からほどなくして錯簡状態となった可能性を指摘した。

- ・神奈川県立歴史博物館本十王図に関連して、同じ図様を示す十王二使者図が小田原市総世寺に所在することを近世の地誌を手がかりにつきとめ、熟覧と展示公開の機会を得た。また、中国明時代初期の制作と推定できる総世寺本の画中山水図の描写が、室町時代前期作と思しき同図様の根津美術館本においては、室町前期の宮廷絵師が手掛けた絵巻物を思わせる表現に変じていることから、神奈川県立歴史博物館本、大徳寺本、海住山寺本、総世寺本などに類する将来十王図が、室町時代前期の段階で宮廷絵師が実見できる環境に存在したことを指摘した。

- ・小田原市総世寺において見いだした伝十三仏図(四仏図)に「常陽真康十九歳筆」と款記があることから、鎌倉地域における初期の水墨画を考えるうえで重要でありながら出身地や伝歴などが不明である仲安真康が、常陽すなわち常陸国に所縁を有する可能性を指摘した。

- ・神奈川県立歴史博物館本十王図に図像が近似する諸本、具体的には総世寺本(中国明時代、14世紀)根津美術館本(室町時代、15世紀)西教寺本(高麗~朝鮮時代、14~15世紀)建長寺本(室町時代、15世紀)能永寺本(室町時代、16世紀)神照寺本(室町時代および江戸時代、15世紀および17世紀)大倉集古館本(江戸時代、17世紀)などの熟覧調査をきっかけに、通常の等倍程度の拡大撮影よりは高倍率で、なおかつデジタルマイクロスコ

ープよりは低倍率の倍率による写真撮影が支持体や顔料の質感を観察するのに適していることを実感するに至り、今後の調査研究手法について着想を得ることとなった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計14件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 4
2. 論文標題 鎌倉と小田原と雪村	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 雪村	6. 最初と最後の頁 11-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 49
2. 論文標題 興悦筆滌墨山水図	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 神奈川県立博物館研究報告 人文科学	6. 最初と最後の頁 p.5-6,55-58
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 -
2. 論文標題 清拙正澄墨蹟「与鏡空浄心偶頌」にみられる雲母刷り装飾について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アートと、そのあわいで	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 -
2. 論文標題 神奈川県立歴史博物館所蔵「十王図」の修理概要	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 重要文化財修理完成記念 十王図	6. 最初と最後の頁 5-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 -
2. 論文標題 神奈川県立歴史博物館所蔵の十王図と同系統の転写本	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 重要文化財修理完成記念 十王図	6. 最初と最後の頁 94-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 -
2. 論文標題 北条早雲像をはじめとする北条五代画像の転写と伝来について 神奈川県立歴史博物館所蔵狭山藩北条家伝来の下絵類の描写をめぐって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 開基五〇〇年記念早雲寺 戦国大名北条氏の遺産と系譜	6. 最初と最後の頁 183-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 1515
2. 論文標題 敏昌筆 渡唐天神像	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 國華	6. 最初と最後の頁 26-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 -
2. 論文標題 神奈川県小田原市総世寺所蔵の十王二使者図について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ことば・ほとけ・図像の交響 法会・儀礼とアーカイブ	6. 最初と最後の頁 341-380
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 1490
2. 論文標題 木賊図屏風	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 國華	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 1491
2. 論文標題 曾我二直菴筆 商山四皓・竹林七賢図屏風	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 國華	6. 最初と最後の頁 24-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 38
2. 論文標題 高城寺旧蔵の 十六羅漢図 にみる禅の要素	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 美術フォーラム21	6. 最初と最後の頁 52-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 45
2. 論文標題 横浜市宝生寺所蔵仏涅槃図の表現と伝来について 鎌倉地域における円覚寺本仏涅槃図の影響	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神奈川県立博物館研究報告 人文科学	6. 最初と最後の頁 19-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 45
2. 論文標題 修理報告 重要文化財「絹本着色 十王図」保存修理事業報告	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 神奈川県立博物館研究報告 人文科学	6. 最初と最後の頁 99-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 橋本遼太	4. 巻 -
2. 論文標題 祥啓の画業と啓書記の受容	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 あこがれの祥啓 啓書記の幻影と実像	6. 最初と最後の頁 178-184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件(うち招待講演 1件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 橋本遼太
2. 発表標題 宝生寺の仏涅槃図を守り伝えた人びと 新発見の軸木銘文を読み解く
3. 学会等名 平成30年度横浜市指定・登録文化財展開連講座(招待講演)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 時宗、時宗総本山 清浄光寺(遊行寺)、神奈川県立歴史博物館	4. 発行年 2019年
2. 出版社 時宗、時宗総本山 清浄光寺(遊行寺)、神奈川県立歴史博物館	5. 総ページ数 144
3. 書名 真教と時衆	

1. 著者名 橋本遼太	4. 発行年 2019年
2. 出版社 神奈川県立歴史博物館	5. 総ページ数 38
3. 書名 屏風をひらけば 神奈川県立歴史博物館所蔵の屏風絵	

1. 著者名 橋本遼太	4. 発行年 2021年
2. 出版社 神奈川県立歴史博物館	5. 総ページ数 120
3. 書名 重要文化財修理完成記念 十王図	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------